

内海理事長がラオス国を訪問

去る 2011 年 2 月 4 日、内海理事長がラオス国を訪問致しました。

出張の目的は、2010 年 3 月に採択され実施中であった APT(EBC-J3)パイロットプロジェクトのオープニング・セレモニーへの参加であり、在ラオス日本国大使館より大森公使、総務省情報通信国際戦略局国際協力課より林技術協力専門官を来賓としてお招きし、式典主催組織であるラオス国保健省の Prof. Dr. Eksavang 副大臣をはじめとするラオス国関係省庁幹部及び各病院関係者が多数列席する中、富士通(株)林ビジネスマネジメントセンター長と共に、日本側プロジェクトパートナー代表として出席致しました。

本プロジェクトは、首都ビエンチャンの中央病院とルアンパバン県病院とをネットワークで結び、ICT によるルーラルエリアの医療環境改善を目指したプロジェクトであり、2008 年 10 月のラオス国保健省 ICT マスタープラン策定支援を契機とする3年掛かりのラオス国 e-health 関連の取り組みにおける一つの節目であります。

式典においては、実際の設備による・実際の症例に関する・実際に担当している医師間での遠隔相談デモンストレーションが実施され、今後の効果的な実運用はもとより、他地域や他セクターへの展開に対する期待感の大きさを、ネットワークを介して遠隔参加したルアンパバン県病院からの参加者を含む約 50 名が共感できるものとなりました。

また、実質1日間の短いスケジュールの中、ラオス国保健省 Dr. Ponmek 大臣、郵便電気通信庁 Mr. Padapphet 副大臣、在ラオス日本国大使館横田大使、JICA ラオス事務所米山次長を表敬訪問させて頂きました。本プロジェクトに至るまでの JTEC の取り組みをご説明し、今後の具体的な ICT 関連案件形成に向けてのご理解とご協力をお願いすると共に、非常に有益な意見交換をさせて頂きました。

日本からのご参加並びに各種事前準備にご尽力頂いた総務省情報通信国際戦略局国際協力課の関係各位、現地における各種調整にご尽力いただいた田中書記官をはじめとする在ラオス日本国大使館の関係各位、プロジェクトパートナーであるラオス国郵便電気通信庁、同科学技術庁、同保健省の関係各位に、厚く御礼申し上げます。

(文責:第一技術部長 金澤智昭)



理事長スピーチ模様



保健省副大臣を囲んでの記念撮影